



# 個人投資家サーベイ

個人投資家の皆様の相場環境に対する意識調査のため、2010年8月19日～8月23日にアンケートを実施しました。ご回答くださった皆様には、ご協力に感謝いたします。誠にありがとうございます。今、個人投資家の皆様が、相場をどのようにとらえているのか、調査結果をまとめました。

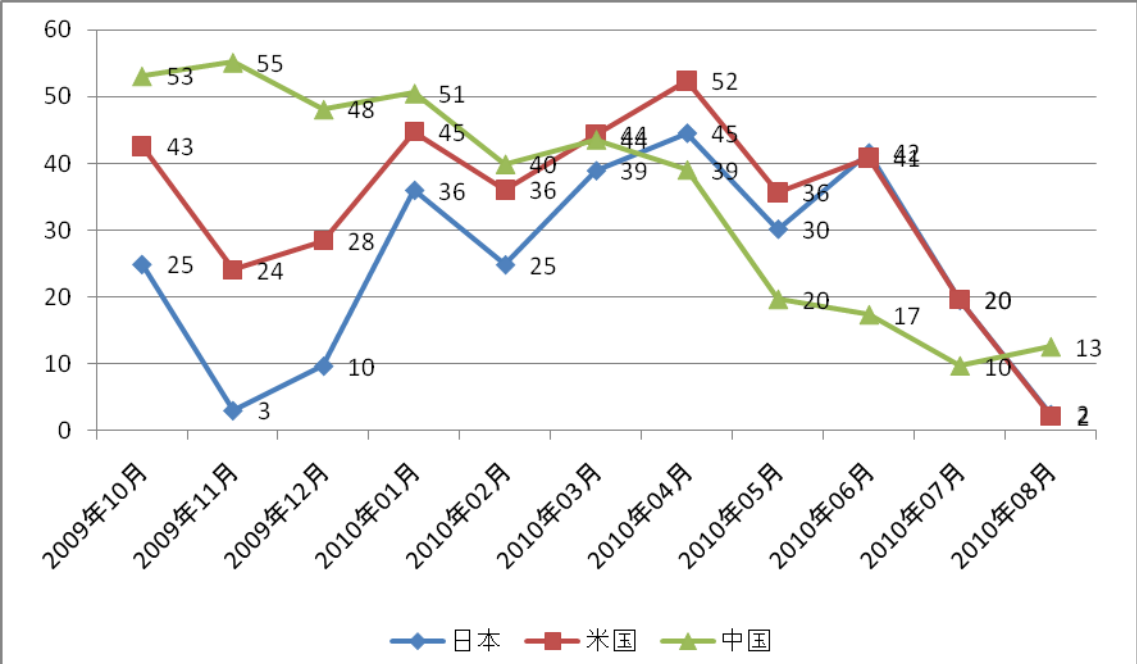
「Monex 個人投資家サーベイ」は、個人投資家の相場環境に対する意識調査として毎月アンケートを行い、その調査結果をまとめたものです。2009年10月に第1回サーベイを行い、月次で公表しております。



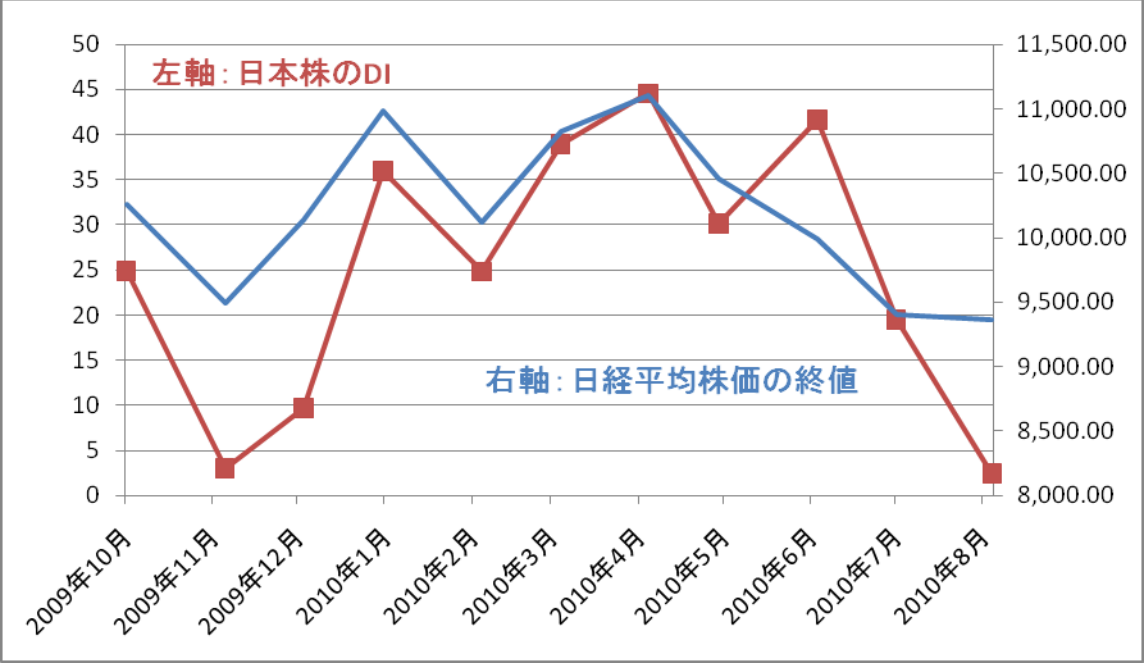
## ■ 調査結果

### 1 株式市場を取り巻く環境について

(1) 今後3ヶ月程度の株価予想（日本、米国、中国の11ヶ月DI推移）



今後3ヶ月間の株価予想について、日本、米国のDI（※）は下落し、中国のみ若干上昇しました。（※DI:「上昇すると思う」と回答した%から「下落すると思う」と回答した%を引いたポイント）

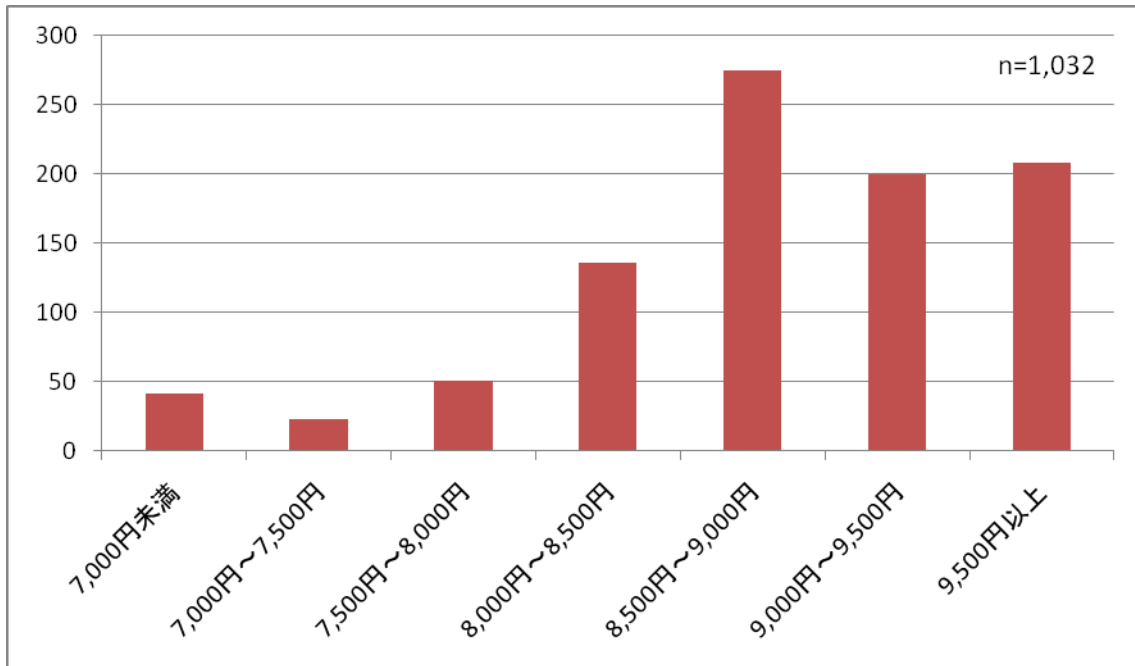


日本株について、日経平均株価は前月に比べさほど下落していませんが、日本株のDIは大きく下がっています。



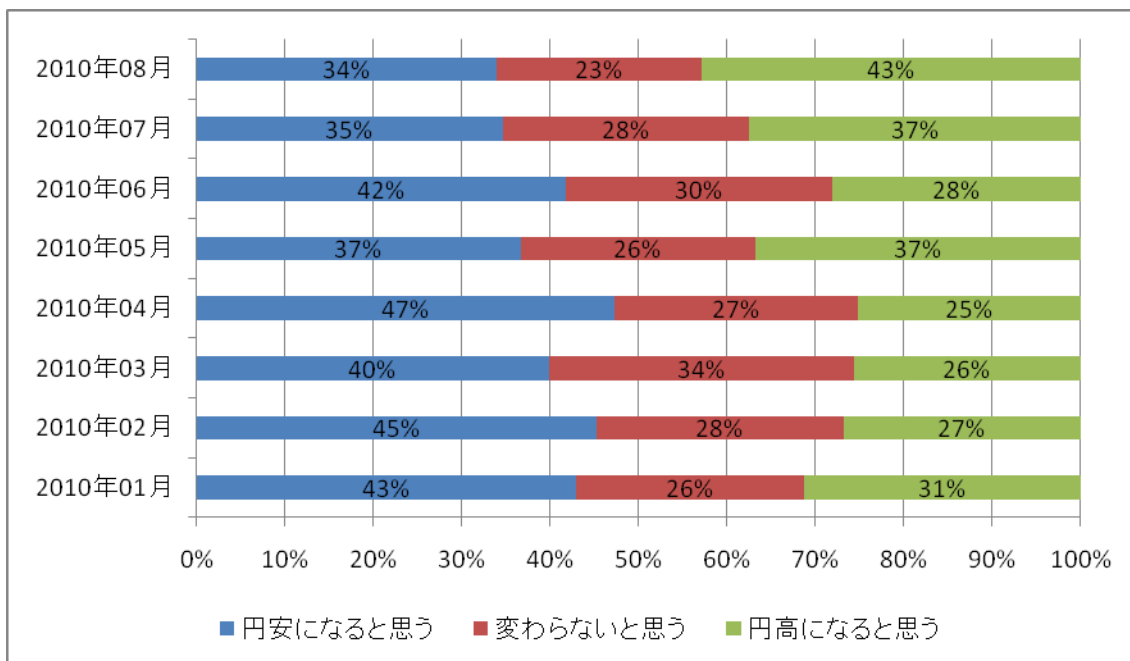
## (2) 日本株を買いたい水準

(日経平均株価がどの水準であれば、日本株を買いたいと思いますか?)



8,500円~9,000円のところに大きな山があります。

## (3) 今後3ヶ月程度の米ドル/円相場予想

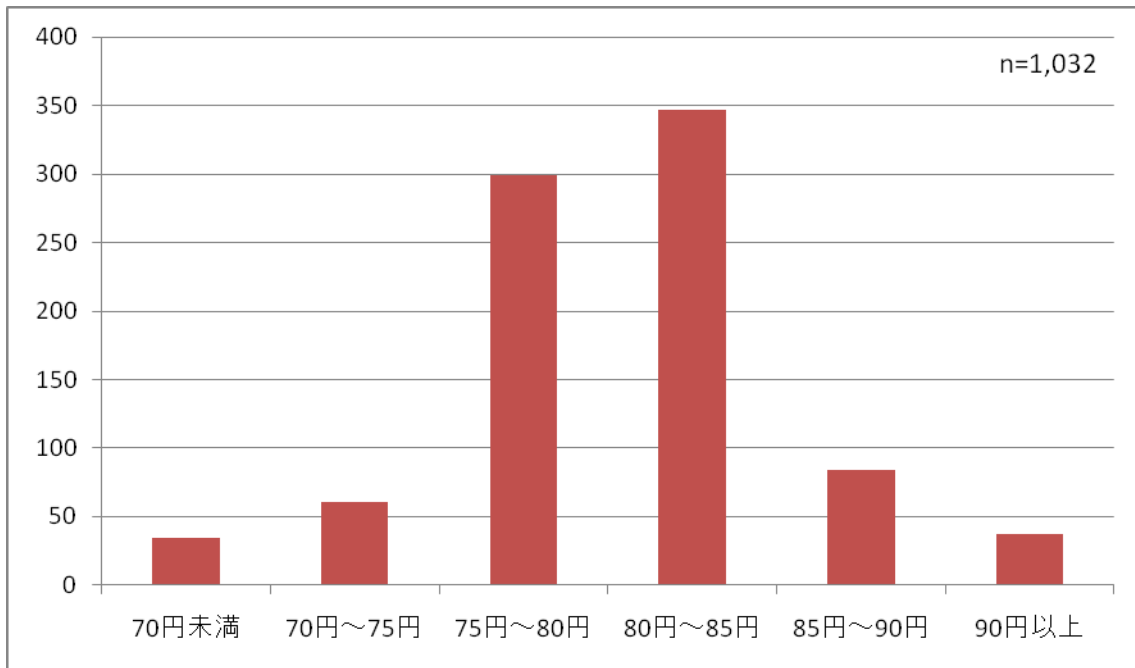


先月よりもさらに、円高を予想する割合が増えています。



## (4) 米ドルを買いたい水準

(ドル円相場がどの水準であれば、米ドルを買いたいと思いますか?)



80円を切ったところで米ドルを買いたい、と思う方も3割程度いらっしゃいます。

## 2 日本の株式市場について

### (1) 日本市場の各業種に対する今後3ヶ月程度の見通し (魅力的であると思う業種のランキング)

2010年7月

- 1 ハイテク
- 2 医薬品
- 3 通信
- 4 商社
- 5 自動車
- 6 機械
- 7 電力・ガス
- 8 非鉄
- 9 鉄鋼
- 10 不動産
- 11 海運
- 12 銀行
- 13 小売

2010年8月

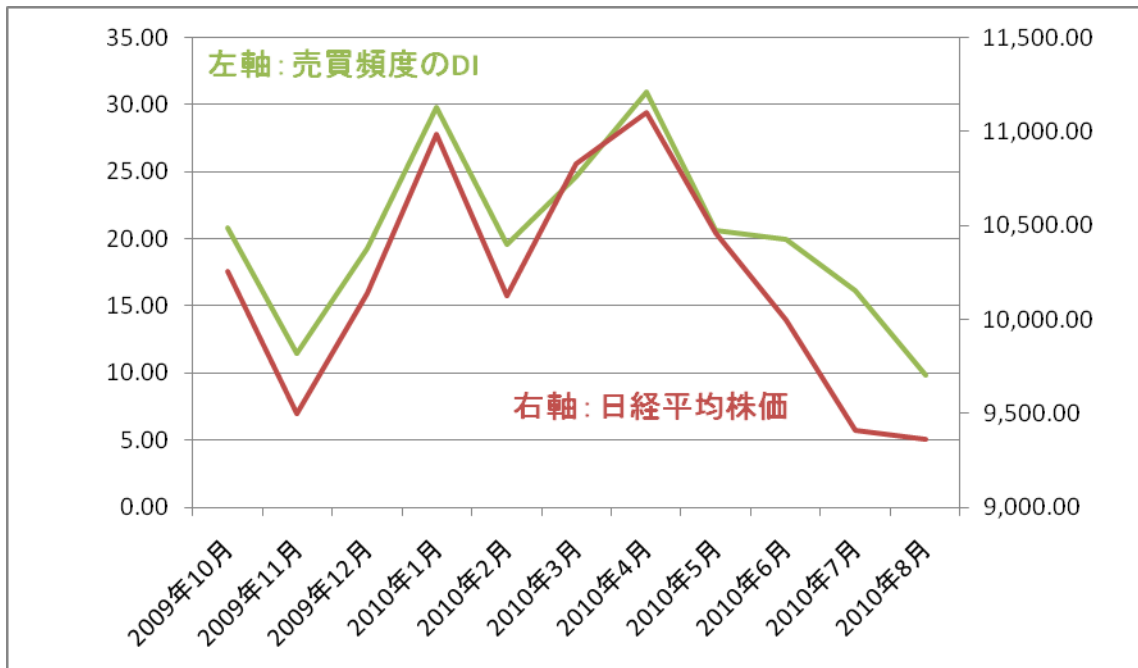
- 1 医薬品
- 2 ハイテク
- 3 通信
- 4 商社
- 5 自動車
- 6 電力・ガス
- 7 機械
- 8 海運
- 9 非鉄
- 10 銀行
- 11 鉄鋼
- 12 小売
- 13 不動産

7月はハイテクが1位でしたが、8月は医薬品に1位を譲りました。



### 3 お客様の日本株取引について

#### (1) 今後3ヶ月の投資意欲について



売買頻度のDIは、先月の16から今回は10へと下落を続けています。（※DI：売買頻度を増やしたいと回答した%から売買頻度を減らしたいと回答した%を引いたポイント）

## ■ 総括

今月の個人投資家サーベイでは、8月になって日本株が再び年初来安値を更新した直後に調査が行われたこともあり、前月（7月）調査と比較して日本、米国株を中心に投資家の期待が大きく悪化することが示されました。

日本株と米国株のDI（今後の3ヶ月先の株価予想、「上昇する」－「下落する」、中立が0）がそれぞれ+2まで大きく低下しました。前回調査では両指数ともに+20でしたが、今後「上昇する」という見方が後退し「上昇する」と「下落する」がほぼ同数に並んだ格好です。

米国株は、7月初旬のボトムから上昇していますが、肝心の日本株について円高が嫌気され、下振れ懸念が意識されているようです。日本株DIの+2という数字は2009年11月調査以来の低い水準です。



「日本株を買いたいと思う日経平均株価の水準」という質問については、日経平均 8,500～9,000 円が最も多い回答でした。09年11月末に日経平均株価が 9,000 円付近まで下落しましたが、当時の 9,000 円水準を一回割り込むまで下落すると身構えている投資家が多くなっています。

一方、また中国本土株が7月から上昇に転じている中で中国株の DI は+13 と、前回調査(+10)よりも僅かに改善しました。今月調査では、日本や米国よりも中国株に対する期待が上回っている状況です。米国経済への懸念が高まる中で、底堅さをみせる新興国の代表格である中国への関心が再び高まっています。

ドル円相場については、「円高になる」という予想が前月に続いて増加、43%と本調査開始以来最も高い割合まで上昇しました。5月以来の続く円高ドル安トレンドが変らない中で、一段の円高を予想する向きが多数派になっています。

実際に「米ドルを買いたい水準」という質問については、80～85 円という回答が最も多く、節目として大きく意識される 85 円台を下回るまではドルを買えないと判断する投資家が多いようです。

今回も皆様方のご協力で、大変貴重なデータを作成・分析することができました。本当にありがとうございました。今回のサーベイが個人投資家の皆様方の投資判断の一助となれば幸いです。

(マネックス証券 チーフ・エコノミスト 村上 尚己)



## ■ 調査の概要と回答者の属性

調査方式： インターネット調査  
 調査対象： マネックス証券に口座を保有している個人投資家  
 回答数： 1,032件  
 調査期間： 2010年8月19日～8月23日

### 【性別】

男性	女性
82.5%	17.5%

### 【年齢】

未成年	20代	30代	40代	50代	60代	70歳超
0.4%	5.7%	27.2%	29.5%	17.4%	14.8%	4.9%

### 【金融資産】

500万未満	500万 ～1000万	1000万 ～2000万	2000万 ～5000万	5000万 ～1億	1億以上
36.9%	19.8%	19.1%	17.3%	4.7%	2.1%

### 【売買頻度】

デイトレ	週に数回	月に数回	数ヶ月に1回	それより少ない
4.9%	11.6%	26.5%	31.1%	25.9%

### 【株式投資のご経験】

1年未満	2年～5年	5年～10年	10年以上
7.9%	32.8%	27.4%	31.9%

本情報は当社が実施したアンケートに基づいて作成したものです。

- ・ 本情報は売買のタイミング等を反映したのではなく、また示唆するものではありません。
- ・ 当社は記載した銘柄の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・ 当社は本情報の内容に依拠してお客さまが取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。
- ・ 銘柄選択や売買タイミングなどの投資にかかる最終決定は、お客さまご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。

## マネックス証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号  
 加入協会：日本証券業協会、（社）金融先物取引業協会